



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月1日

上場会社名 富士急行株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9010 URL <http://www.fujikyuu.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)堀内 光一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員IR推進室長兼経営管理部長 (氏名)和田 一成 TEL 0555-22-7120
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	10,318	18.4	357	—	174	—	141	—
24年3月期第1四半期	8,711	△16.5	△394	—	△621	—	△353	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △6百万円(—%) 24年3月期第1四半期 △430百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第1四半期	円 銭 1. 33	円 銭 —
24年3月期第1四半期	△3. 34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第1四半期	百万円 90,366	百万円 15,954	% 17.0
24年3月期	87,649	16,494	18.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 15,356百万円 24年3月期 15,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 5. 00	円 銭 5. 00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5. 00	5. 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,910	10.4	2,860	25.2	2,230	24.2	1,100	12.1	10.37
通期	46,200	5.1	3,400	20.5	2,200	20.1	1,000	25.0	9.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	109,769,477株	24年3月期	109,769,477株
25年3月期1Q	3,650,722株	24年3月期	3,650,441株
25年3月期1Q	106,118,885株	24年3月期1Q	106,030,382株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、震災復興需要等により個人消費は緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州の金融不安や電力供給に対する懸念が残るなど先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業にわたり、積極的な営業活動と経営の効率化に努めるとともに、Webサイトを通じた富士山エリアの情報発信により観光客の利便性向上と観光施設への集客支援を行う「フジヤマNAV I」を新たに公開しました。この結果、震災の影響による落込みからの回復もあり、当第1四半期の営業収益は103億18百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益は3億57百万円（同7億51百万円増益）、四半期純利益は1億41百万円（同4億95百万円増益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(運輸業)

鉄道事業では、春のダイヤ改正に合わせ観光電車「富士登山電車」の平日運転本数を1往復増やすとともに、フジサン特急の運転時刻を見直し利便性の確保に努めました。また、JR東日本と連携し初夏の富士五湖への誘客のため、中央線からの直通列車を増発するとともに、「プラレールトーマス誕生20周年」タイアップとしてお座敷列車内でプラレールが遊べる列車「プラレールトーマス号」を運転し新たな需要の創出と魅力向上に努めました。

乗合バス事業では引き続き不採算路線の改善を行うとともに、新規路線として三島駅発の循環バスを運行開始するなど新規顧客の掘り起こしに取り組みました。

高速バス事業では4月に「多摩～河口湖線」への乗入開始や既存路線における繁忙期の増便対応等、富士五湖発着路線のアクセス強化に努めました。

貸切バス事業では、首都圏4カ所から富士急ハイランドへの会員募集型直行バスを運行し需要の創出に努めました。

なお、設備投資としては、環境に配慮した新型のCNG車両（乗合）2両、ハイブリッド車両（高速）1両を導入いたしました。

また、4月に河口湖営業所を富士急山梨バス株式会社へ統合し、高速バス等の運行効率の改善に努めたほか、5月には富士急コールセンターを新設し、高速バスの一部と鉄道の予約業務を1か所に集約しました。

以上の結果、ハイヤー・タクシーなどの各事業を含めた運輸業全体では、営業収益は37億42百万円（前年同期比14.3%増）となり、営業利益は1億57百万円（同3億61百万円増益）となりました。

(不動産業)

不動産販売事業では、山中湖畔別荘地において大人の趣味・嗜好を追及できる「コンセプト・ヴィラ」シリーズの販売や、建築条件のない土地商品「山中湖の森シリーズ」に新商品として「くつろぎの森」を加えるなど積極的な販売活動を展開しました。

不動産賃貸事業につきましては、新たに外食店舗の賃貸を開始し土地の有効活用を図るなど収益の確保に努めました。

以上の結果、不動産業全体の営業収益は7億15百万円（前年同期比15.0%増）、営業利益は1億78百万円（同4.2%増）となりました。

(レジャー・サービス業)

遊園地事業では、富士急ハイランドにおいて、交通パック等の戦略商品の積極的な販売や消費単価の増加により、入園人員及び収益は前年を上回りました。

また、富士南麓の遊園地「Grinpa」及び「さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト」においても、ファミリーや学生団体及び海外からのお客様が増加するなど好調に推移しました。

富士本栖湖リゾートにおいては、「富士芝桜まつり」を本年は「特別鑑賞会」として4月後半から5月後半まで開催し、約19万人のお客様にご来場いただきました。

また、物販事業では東名高速道路EXPASA海老名（前年12月「頑固市場」開業）に次いで、本年4月新東名高速道路NEOPASA駿河湾沼津において「レストラン ソラノテラス」と「リサとガスパールカフェ」をオープンし好評を博しました。

以上の結果、ホテル事業・ゴルフ場事業等を含めたレジャー・サービス業全体の営業収益は、ゴールデンウィーク期間の悪天候等の影響があったものの、50億92百万円（前年同期比27.4%増）となり、営業利益は617千円（同3億92百万円増益）となりました。

(その他の事業)

製造販売業は、富士ミネラルウォーター株式会社において非常用水の販売が引き続き順調に推移し、また、株式会社レゾナント・システムズではドライブレコーダーや音声合成放送装置など交通機器の販売が前年を上回りました。

以上の結果、その他の事業全体の営業収益は18億37百万円(前年同期比9.7%増)となりましたが、営業利益は人材派遣業の利益減等があり33百万円(同24.3%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて27億16百万円増加し、903億66百万円となりました。

また、負債は、借入金の増加などにより前連結会計年度末に比べて32億56百万円増加し、744億11百万円となりました。なお、借入金は、長短合計で28億51百万円増加しております。

純資産合計は、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて5億39百万円減少し、159億54百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成24年5月9日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,302,182	13,801,539
受取手形及び売掛金	2,654,744	1,934,459
分譲土地建物	8,390,728	8,397,233
商品及び製品	612,210	681,387
仕掛品	24,026	32,864
原材料及び貯蔵品	577,789	641,405
未成工事支出金	76,756	464,191
繰延税金資産	168,497	180,840
その他	1,102,751	1,027,433
貸倒引当金	△12,825	△11,422
流動資産合計	23,896,862	27,149,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,152,602	26,091,136
機械装置及び運搬具(純額)	5,831,580	5,497,181
土地	16,435,265	16,435,347
リース資産(純額)	3,976,002	3,780,422
建設仮勘定	825,159	919,334
その他(純額)	1,321,314	1,313,519
有形固定資産合計	54,541,924	54,036,942
無形固定資産		
投資その他の資産	3,047,902	3,053,093
投資有価証券	4,287,707	4,055,082
繰延税金資産	714,943	793,156
その他	1,185,569	1,303,253
貸倒引当金	△25,506	△25,206
投資その他の資産合計	6,162,712	6,126,285
固定資産合計	63,752,540	63,216,322
資産合計	87,649,402	90,366,254

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,263,933	2,394,501
短期借入金	15,288,580	16,347,809
リース債務	809,272	799,488
未払法人税等	196,677	57,108
賞与引当金	392,572	122,754
役員賞与引当金	6,500	—
その他	3,603,875	4,459,218
流動負債合計	22,561,411	24,180,880
固定負債		
長期借入金	39,576,536	41,368,556
リース債務	3,404,265	3,215,647
退職給付引当金	1,037,957	1,024,866
その他	4,574,732	4,621,745
固定負債合計	48,593,490	50,230,815
負債合計	71,154,902	74,411,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,126,343	9,126,343
資本剰余金	3,417,932	3,417,932
利益剰余金	4,918,461	4,530,232
自己株式	△1,528,533	△1,528,665
株主資本合計	15,934,203	15,545,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△29,663	△189,780
その他の包括利益累計額合計	△29,663	△189,780
少数株主持分	589,960	598,495
純資産合計	16,494,499	15,954,558
負債純資産合計	87,649,402	90,366,254

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業収益	8,711,840	10,318,229
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	8,851,458	9,697,434
販売費及び一般管理費	254,966	263,538
営業費合計	9,106,424	9,960,972
営業利益又は営業損失(△)	△394,584	357,256
営業外収益		
受取利息及び配当金	19,396	24,108
雑収入	52,478	86,168
営業外収益合計	71,874	110,276
営業外費用		
支払利息	280,521	272,706
雑支出	18,440	20,064
営業外費用合計	298,961	292,770
経常利益又は経常損失(△)	△621,671	174,762
特別利益		
固定資産売却益	62,683	1,146
補助金	19,591	22,482
受取補償金	—	83,774
特別利益合計	82,274	107,403
特別損失		
固定資産売却損	712	—
投資有価証券評価損	9,447	—
固定資産圧縮損	19,591	22,440
固定資産除却損	13,111	57,085
特別損失合計	42,861	79,525
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△582,258	202,640
法人税、住民税及び事業税	52,080	58,108
法人税等調整額	△296,255	△10,012
法人税等合計	△244,175	48,096
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△338,083	154,543
少数株主利益	15,870	13,489
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△353,954	141,054

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△338,083	154,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91,483	△154,097
持分法適用会社に対する持分相当額	△565	△6,987
その他の包括利益合計	△92,048	△161,085
四半期包括利益	△430,132	△6,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△445,560	△19,061
少数株主に係る四半期包括利益	15,428	12,520

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	レジャー・ サービス業	計				
営業収益								
外部顧客に対する 営業収益	3,258,841	497,843	3,916,879	7,673,564	1,038,275	8,711,840	—	8,711,840
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	14,300	124,719	81,712	220,732	636,490	857,223	△857,223	—
計	3,273,142	622,562	3,998,592	7,894,297	1,674,766	9,569,063	△857,223	8,711,840
セグメント利益又は 損失(△)	△203,885	171,451	△391,561	△423,995	44,127	△379,868	△14,715	△394,584

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、百貨店業、建設業、製造販売業、情報処理サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△14,715千円には、セグメント間取引消去△15,856千円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	レジャー・ サービス業	計				
営業収益								
外部顧客に対する 営業収益	3,722,568	590,684	4,959,727	9,272,980	1,045,248	10,318,229	—	10,318,229
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	20,075	125,040	133,260	278,376	792,459	1,070,835	△1,070,835	—
計	3,742,644	715,725	5,092,987	9,551,357	1,837,707	11,389,065	△1,070,835	10,318,229
セグメント利益	157,933	178,568	617	337,118	33,387	370,506	△13,249	357,256

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、百貨店業、建設業、製造販売業、情報処理サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△13,249千円には、セグメント間取引消去△13,142千円等が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。